

ASEAN スマートコールドチェーン構想における ビジョン及び戦略

1. ビジョン及び戦略策定の考え方

ASEAN では、所得の向上に伴い食生活が多様化し、流通段階における温度管理を伴うコールドチェーン物流の需要が高まっている。今後、ASEAN におけるコールドチェーン物流の需要を我が国物流事業者及び物流機器メーカー（以下我が国事業者）等が確実にとらえることができる環境を醸成し、我が国の物流システム、規格・基準及び技術を有機的に活用した、高品質で環境に優しいコールドチェーン（スマートコールドチェーン）を実現するために、以下の4つの観点が重要であると考えられる。

第1に、ASEAN においては所得の向上に伴い、流通段階におけるコールドチェーン物流需要が高まる一方、現地の一般消費者の多くは温度管理による鮮度保持と食品の安全確保、延いては健康管理について必ずしも理解を深めていない。コールドチェーン物流を必要とする貨物の需要の底上げを図るため、生産者及び流通事業者は言うまでもなく、一般消費者に対して温度管理がもたらす食品の安全等について啓発する必要がある。

第2に、ASEAN のコールドチェーン物流市場においては、安価ではあるが低品質なサービスが蔓延しており、我が国事業者が高品質なサービスを提供する際の障害となっている。また、現地で物流事業を行う際の事業規制やインフラの未整備など、ソフト、ハードの課題が存在する。我が国事業者の競争優位性を確立するためのソフト、ハード両面における基盤整備の促進が必要となる。

第3に、ASEAN では依然として複雑な法規制や市場慣行等が存在しており、両国の公的機関が連携して、我が国事業者が ASEAN において高付加価値な食品需要に対応した新規の流通ルートの開発や我が国事業者が ASEAN の顧客へ効果的に商品売り込む機会の提供等によって、新たなコールドチェーンビジネスの創出効果が期待される。

第4に、我が国事業者が取り扱う高付加価値な食品の安全・安心を確保するにあたり、物流分野に求められる価値が高まっており、環境負荷の軽減を含め顧客ニーズに応えた最適な物流ソリューションを提供するために新技術等を活用した ASEAN におけるコールドチェーン物流の構築の支援が強く求められている。

したがって、上記4つの観点に基づき、以下の4つのビジョンの下、我が国関係省庁・機関が連携し戦略的に ASEAN におけるスマートコールドチェーンの実現に向けて取り組むことが求められる。

【ビジョン1】

ASEANにおけるコールドチェーン物流を必要とする高付加価値な貨物需要の創出を促す。

【ビジョン2】

ASEANにおけるコールドチェーン市場において、我が国事業者の優位性を確立するための基盤整備を促進する。

【ビジョン3】

ASEANにおける我が国事業者の新たなコールドチェーンビジネスの創出を支援する。

【ビジョン4】

新技術等を活用した ASEAN におけるコールドチェーン物流の構築を支援する。

2. ビジョン及び戦略

- **ビジョン1. ASEAN におけるコールドチェーン物流を必要とする高付加価値な貨物需要の創出を促す。**

戦略

- (1) ASEAN の一般消費者に対する意識啓発の促進等を通じて、コールドチェーン物流が不可欠となる生鮮食品等の需要の増加を図る。
 - ASEAN においては、所得の向上及びライフスタイルの多様化に伴って、都市部を中心にコールドチェーンを必要とする冷凍冷蔵食品や生鮮食品等の需要が顕在化している。一方で、それらの消費者をはじめ国民全体として、保冷による鮮度保持、食品の安全や衛生管理、冷蔵冷凍食品のメリットや調理方法等コールドチェーン物流がもたらす重要性についての知識が乏しい状況にある。
 - そこで、生産者及び流通事業者は言うまでもなく、食品の安全の確保について消費者に対する普及啓発活動、冷凍冷蔵食品のメリット、コールドチェーンに関する一般的な知識の普及を通じて、コールドチェーンの重要性を啓発するとともに、我が国からの生鮮食品の輸出の増加、ASEAN における付加価値の高い生鮮食品の生産力向上、日本食・食文化の普及等にも取り組み、ASEAN においてコールドチェーン物流が不可欠となる生鮮食品等の需要を多方面から喚起する。
- (2) ハラル物流の需要に対応するための環境整備を行う。
 - イスラム教徒が4割を占める ASEAN においては、イスラム教徒が安心して食べられるよう、製造過程だけでなく物流過程においてもハラルであることが求められており、こうした食品を取り扱う需要が増えている。
 - そこで、ASEAN 域内のみならず、ASEAN から中東向けのハラル貨物を取り込むため、ハラル食品に関する知識、ハラル貨物の取り扱い方法、ハラル認証制度に関する情報等全般的な情報を取得・交

換できる会合等の開催を通じ、ハラル貨物への理解を深める機会を増やすなどの環境整備を行う。

- **ビジョン2. ASEANにおけるコールドチェーン市場において、我が国事業者の優位性を確立するための基盤整備を促進する。**

戦略

- (1) コールドチェーン物流サービスに関する規格、基準等の導入により我が国物流事業者の競争優位性を高める。
 - ASEANにおいては、都市部を中心に、所得の向上に伴う生活水準や食品の安全に関する意識の向上等に伴って、コールドチェーン物流の需要の増加が期待されている。一方で、質の高いコールドチェーン物流を提供できる現地の物流事業者はまだ少なく、安価ではあるが低品質なコールドチェーン物流サービスが存在している。
 - そのため、質の高いコールドチェーン物流サービスへの需要を更に喚起するとともに、質の高いコールドチェーン物流サービスを見える化・差別化し、我が国の物流事業者が選ばれる環境を構築するため、現地の政府機関・コールドチェーン協会等へ規格等の導入によるメリットを理解させるとともに、我が国物流事業者の強みを反映したコールドチェーン物流サービスに関する規格、基準等の導入を図る。
- (2) 食品の衛生管理等に関する国際的な認証制度の普及を図る。
 - 冷凍冷蔵食品や生鮮食品等の需要の高まりつつあるASEANにおいて、今後、消費者の食品の安全に対する意識の変化が想定され、自国で生産した生鮮食品や冷蔵冷凍食品等の安全な提供に対する潜在的需要は高いと考えられる。
 - そこで、世界的に展開する食品企業が集まり、食品安全の向上と消費者の信頼強化のため協働して食品安全管理規格の承認を行うGFSI (Global Food Safety Initiative) 等の国際的な認証制度の普及を通じて、さらに消費者の安全な食品に対する関心を高めることにより、質の高いコールドチェーン物流サービス・物流機器を提供する我が国事業者のビジネスチャンスの拡大を図る。
- (3) ASEANにおいてビジネス展開の障害となっている制度面等の改善を図る。
 - ASEANでは、依然として外資物流事業者に対する兼業規制や外資出資比率が過半数以下等の外資規制が存在しており、我が国の物流事業者のASEANにおけるビジネス展開の妨げとなっている。
 - そこで、経済連携協定 (Economic Partnership Agreement : EPA)、政策対話など政府間協議を通じて、我が国物流事業者がビジネス展開する際の障害となる法制度等の改善を現地政府に働きかける。

(4) コールドチェーン物流に必要なハードインフラの整備を促進する。

- ASEAN における近代的流通市場の拡大や冷凍冷蔵食品の市場規模が拡大するなかで、コールドチェーン物流の普及のためには、道路等の物流網、交通インフラ、冷蔵冷凍施設、安定した電力供給のための電力施設などハードインフラの整備は必要不可欠である。
- ASEAN においてコールドチェーン物流の普及に必要なハードインフラの整備を促進するため、我が国関係省庁・機関は政策対話など政府間協議を通じて道路等の物流網、交通インフラの整備や電力の安定供給等を現地政府に働きかけるとともに、我が国物流事業者による質の高いコールドチェーン物流の整備を支援する。

(5) 現地物流事業者及び政府職員の能力アップを図る。

- ASEAN におけるコールドチェーン物流需要が拡大しているものの、その需要に対応すべき現地物流事業者の保冷管理・輸送等に関する認識不足により、商品劣化等の損害を及ぼしている。よって、我が国物流事業者が現地で物流事業を行う際、パートナーとなる現地物流事業者の能力アップは必要不可欠である。
また、ASEAN におけるコールドチェーンを確立するためには、物流関係省庁により、関連するインフラ・法制度の整備や適切な産業振興策の立案及び実施が必要となる。
- ASEAN において我が国物流事業者が質の高いコールドチェーン物流サービスを提供できるよう、ワークショップやコールドチェーン物流に関する研修・講義等を通じて、現地物流事業者及び政府職員の能力向上・理解促進を図り、我が国物流事業者がビジネス展開し易い環境を整備する。

■ **ビジョン3. ASEAN における我が国事業者の新たなコールドチェーンビジネスの創出を支援する。**

戦略

(1) コールドチェーン物流に関する我が国事業者と現地関連企業との商談会等、ビジネスマッチングの機会を創出する。

- 我が国事業者が、物流サービス及び物流機器を ASEAN の顧客に売り込む際に現地の荷主企業及び物流事業者等との関わりが限定されていることから、効果的に売り込むことを可能とするビジネス環境の構築が必要である。
- 我が国の関係省庁・機関が連携して、我が国事業者が現地の荷主企業及び物流事業者等との商談会等の開催を通じて、ビジネスチャンスの機会を創出する。

(2) 新たなコールドチェーンビジネスの開発のためのモデル事業実施を支援する。

- ASEAN においては今後の経済成長・所得向上が予測され、所得が向上すると、冷凍冷蔵食品や生鮮食品の需要のみならず、さらに高付加価値な食品の需要が増加することが見込まれている。こうし

た高付加価値な食品の需要を我が国事業者が獲得するために、今までは産地、加工場、倉庫・輸送の事業別にモデル事業の継続性を検証していたが、今後は国内外を結ぶ新規のコールドチェーンによる流通ルート（例：漁港・農産地～加工場～倉庫・輸送～消費地）全体をとらえるとともに、ビジネス採算性をふまえた開発が必要である。

また、新規の流通ルートを開発するうえで、民間事業者の自助努力だけでは解決できない複雑な法規制や通関手続、市場慣行等が物流事業者のビジネス展開の障害となっている。

- ASEANにおいて、新規流通事業の開発を両国との関係省庁・機関が連携して支援し、新たなコールドチェーンビジネスとなるモデル事業を支援し、新たなコールドチェーン物流の需要を取り込むことを目指す。

■ ビジョン4. 新技術等を活用したASEANにおけるコールドチェーン物流の構築を支援する。

戦略

(1) 新技術等を活用した物流ソリューションを提供する我が国の物流関連機器の導入を促進する。

- ASEANにおいて我が国事業者が取り扱う高付加価値な食品は、生産、加工及び流通の各段階で食品の安全確保対策の強化が求められており、食品トレーサビリティシステムの構築が重要となる。
また、我が国物流機器メーカーは、IoTやAIなど新技術を導入した物流機器を多く製造しており、物流・製造現場におけるコールドチェーンマネジメント及び生産性の向上に資する最適な物流ソリューションを強みとしている。
- そこで、高付加価値な食品の安全・安心を確保するため、RFID等のICタグを活用したトレーサビリティ機能の強化及びIoTやAI等の新技術の活用によるコールドチェーン物流マネジメントの効率化・最適化に資する我が国の物流関連機器の導入を促進する。

(2) 省エネ等環境性能の高い物流関連機器の導入に向けた環境整備を図る。

- 我が国の物流関連機器は、質の高いコールドチェーン物流の構築に貢献するのみならず、現地におけるCO2排出削減、物流コストの削減等環境負荷の軽減に資する機能性を有している。一方で、現地事業者にとって、我が国の高性能な物流機器を導入することは、価格が高く資本負担が大きい場合があるため、普及が進まないおそれがある。
- そこで、ASEANに対し、グリーン物流を促進させるプロジェクトと連携し、CO2排出削減、物流コストの削減等省エネ等環境性能の高い物流関連機器の導入がもたらす効果を共有した上で、補助金制度をはじめとした環境負荷の軽減に資する物流関連機器購入の推進施策の導入をASEAN各国政府へ推奨する。

以上